

1. 事業の位置付け

事務事業名	防火水槽・消火栓設置事業		
事業担当	消防本部 消防救急課		
予算科目	01-090103-030000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	01	①〈安全〉 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	03	3 迅速かつ的確な消防・水防と救急・救助、救援の体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
消火栓及び防火水槽の設置数を増やすことにより、消防体制の充実が図られている。		円滑な消防活動を図るため、消防水利が弱く延焼拡大の恐れのある地域に防火水槽を設置します。また、円滑な消防水利の確保のため、県水道電気局と連携して消火栓を設置します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	消火栓設置数						単位	基
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			8	10	10			
活動指標②	指標名	防火水槽設置数						単位	基
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			0	1	0			
成果指標①	指標名	消火栓充足率						単位	%
	説明・算定式	目標とする消火栓総数3478基に対する消火栓設置割合							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			90	90.3	90.6			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	③：遅れている								
	遅れている理由	県企業庁の工事に合わせて消火栓を設置しているが、設置すべき場所の工事が少なかった。							
平成19年度の主な取組と成果									
消火栓については、県企業庁の水道管新設又は改修工事に合わせて、工事区域のなかで消火活動上有効な場所に設置しており、平成19年度は若干設置すべき場所の工事が少なかったが、全体的な目標は達成できた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	消火栓の増設を進めることは消火活動上も有効であり、市民のニーズも高い。また消防法第20条の1及び2により消防水利の基準及び水利施設の設置等が義務付けられている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	迅速で円滑な消火活動を図るためには、消火栓の設置を進めることが有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	消火栓の充足率が100%に達していないため、増設を進めることが妥当であるが、設置場所を検討し、有効に設置する必要がある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	消火栓は県企業庁が所有する上水道に設置するため、設置箇所について県企業庁と協議し、決定する必要がある。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 必要性、有効性、妥当性は高いため、今後も事業を継続する必要があるが、消防水利として有効な設置を継続するためには、県企業庁と協議し計画する必要がある。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				設置場所の確保、 設置	設置場所の確保、 設置	設置場所の確保、 設置		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	756	614	1,213	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	756	615	1,214	0	0
事業費 (A)		0	0	1,512	1,229	2,427	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	62.82				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	6,713	6,713	6,713	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	8,225	7,942	9,140	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 消火栓の充足率が100%に達していないため、設置場所を検討し増設を進めることが必要である。消火栓の増設による消火活動の迅速化は、市民の生命・財産を火災等から守るために有効であり、市民の安全を確保するためには事業を継続する必要がある。	
平成21年度取組方針	
消火栓の設置については、消防法第20条の1及び2により消防水利の基準及び水利施設の設置等が義務付けされており、今後は道路狭隘地区及び住宅密集地等の消火困難地域について、住民が初期消火に使用できる消火栓の設置を進める。	
課長コメント	平成19年度は、消火栓未設置地域の水道管工事が少なかったため、消火栓も5基の設置となった。今後はコスト高となるが、水道管工事区域以外についても、消防水利不足地域に消火栓を設置していく。